

■テーマ: 高速道路のインフラマネジメント

部会名	個別情報(気象・車両や人員配置・SNS など)の統合による業務効率化の実証
代表団体	ESRI ジャパン株式会社
実証内容	<p>豪雨・豪雪などの異常気象時における防災対策本部や現地支援班などの体制検討および補修作業や交通規制の実施判断など、緊急対応の意思決定の効率化を図るため、気象、維持管理用車両や作業員の位置、SNS、路面状況、災害発生履歴、車両通行実績などの情報をGIS※のアプリに統合することによる、実業務の効率性を実証する。</p> <p>※GIS (Geographic Information System)とは、様々な情報をデジタル地図上に統合・可視化し、各種情報の関係性、パターン、傾向をわかりやすいかたちで導き出す技術</p> <p>●実証内容 イメージ図</p>  <p>調査結果 129</p> <p>データ統合アプリ</p> <p>豪雨、雪氷時の体制検討</p> <p>補修、規制などの緊急対応</p> <p>外部データ(気象、通行実績)</p> <p>自社データ(車両、道路、拠点)</p> <p>メンテナンス員位置データ</p> <p>地理情報プラットフォーム</p> <p>検証データ</p>
検証内容	異常気象に対する現地の体制・意思決定の効率化による対応の迅速化を検証
実証場所	羽島保全・サービスセンター管内
実証開始時期	2021年7月
(参考) i-MOVEMENT 戦術での位置 付け	⑳各種データ蓄積とプラットフォーム戦略による多角的分析の実現

■イノベーション交流会への応募方法について

交流会の目的、会則※にご賛同いただいた入会希望者は、「イノベーション交流会 入会申込書」※に記載のうえ、お申し込みください。

※「公募説明会参加申込書」、「会則」、「イノベーション交流会 入会申込書」は、イノベーション交流会公式 WEB サイト(<https://innovative-expressway-consortium.jp>)に掲出しています。